

「おうみ若者マイスター」から そして「おうみの名工」へ

—令和7年度おうみ若者マイスター認定者

令和7年度おうみの名工受彰者紹介—



滋賀県

「未来へと幸せが続く滋賀」 をみんなで作ろう



琵琶湖をはじめとする恵まれた自然環境と歴史・文化のある滋賀県は、日本有数のものづくり県であるとともに、今後も様々な産業が生まれ育つ可能性に満ちています。

一方で、少子高齢化が進み、企業を取り巻く環境が大きく変化する中、本県の強みである「ものづくり」を発展させ、県内産業を振興していくためには、熟練技能者の「匠の技」と「ものづくりの真髄」を多くの方々、特に若い世代に継承していくことが重要であると考えています。

このような状況の中、本県では、長年にわたる研鑽により卓越した技能を身に付けられ、後進の指導・育成にも努めてこられた熟練技能者を「おうみの名工」として表彰するとともに、優れた技能を持つ若い技能者を「おうみ若者マイスター」に認定しています。

本年度認定された「おうみ若者マイスター」や表彰された「おうみの名工」の皆様は、全国でもトップクラスの技能を身につけた、滋賀の誇れる「人財」です。

これからも技能向上に励まれ、プロフェッショナルとして一層飛躍されることを願うとともに、同じ道をめざす子どもたちの憧れの存在として、ますます活躍されることを期待しています。

また、本県では、子ども・若者が希望とともに歩む未来を展望し、「子どものために、子どもとつくる県政」「ひとづくり」を重視した取組を進めているところです。

技術・技能に夢と誇りを持った技能者の皆様と共に、滋賀の未来を担う産業ひとづくりの推進にも引き続き取り組んでまいりますので、熟練の技術・技能を継承し、新たな発想やアイデアに挑戦する「おうみ若者マイスター」や「おうみの名工」の皆様にも是非お力添えをお願いいたします。

ともに頑張りましょう！

令和8年2月

滋賀県知事

三 明 大 造

令和7年度おうみ若者マイスター認定者 (敬称略)

優秀な若い技能者を「おうみ若者マイスター」として認定するとともに、技能振興活動に協力していただくことで、若年技能者の技能研鑽への意欲向上と、社会全般に技能尊重の気運が醸成されることを目的としています。



令和7年11月13日 滋賀県公館

認定者一覧

認定番号	お名前	職種名	勤務先
084	寺内 祐樹 <small>てらうち ゆうき</small>	汎用金属工作機械工	キヤノンマシナリー株式会社
085	笹木 朝光 <small>ささき ともみつ</small>	木製製品製造工	有限会社笹木木工
086	福井 耕平 <small>ふくい こうへい</small>	金型取付工等 (溶射)	株式会社シンコーメタリコン
087	中上 翔太 <small>なかがみ しょうた</small>	汎用金属工作機械工	ヤンマーパワーテクノロジー株式会社

令和7年度おうみの名工受表彰者 (敬称略)

現役の優秀な技能者を表彰することにより、広く社会全般に技能尊重の気運を浸透させ、もって技能者の地位および技能水準の向上を図ることを目的としています。



令和7年11月13日 滋賀県公館

受表彰者一覧

認定番号	お名前	職種名	勤務先
838	宇杉 直人 <small>うすぎ まさと</small>	金属研磨工	ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場
839	斧原 崇 <small>おのほら たかし</small>	鋳物製造工	ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場
840	北川 小太郎 <small>きたがわ こたろう</small>	大工	有限会社亀屋北川工務所
841	北村 順治 <small>きたむら じゅんじ</small>	漆器工	きたしん
842	佐々木 寛 <small>ささき かん</small>	日本料理調理人	株式会社琵琶湖グランドホテル・京近江
843	津田 弘道 <small>つだ ひろみち</small>	左官	有限会社津田左官工業所
844	西川 肇 <small>にしかわ はじめ</small>	金属溶接・溶断工	株式会社ゴーシュー
845	的場 貴之 <small>まとば たかゆき</small>	畳工	有限会社の場たたみ店

汎用金属工作機械工

キャノンマシナリー株式会社 勤務

認定番号

084

てらうち
寺内

ゆうき
祐樹

平成3年(1991年)生



高精度、高難度部品(薄物等)を中心としたフライス盤加工に従事し、装置コストダウン等に貢献している。キャノングループトップクラスの優れた技能を有するものとして、キャノン卓越技能者A級認定がされている。汎用金属工作機械工分野において、優秀な技能を持っている。

おうみ若者マイスターに認定されて

この度は「おうみ若者マイスター」に認定を頂きありがとうございました。このような名誉ある認定が頂けたのは、職場の皆様のご指導とご協力のお蔭だと感謝しております。幼いころ、旋盤工である祖父に憧れ、手に職をつけたいと考え、この仕事に就きました。入社以来、金属加工一筋に業務を

続けながら、旋盤やフライス盤の国家資格にチャレンジしてきました。工作機械の性能は日々進化しますが、その能力を引き出すのは技能者のスキルだと思います。これからもスキルを磨き続け、自身の持つ技能と経験を活かしてものづくりに貢献をしていきます。

木製製品製造工

有限会社笹木木工 勤務

認定番号

085

ささき
笹木

ともみつ
朝光

平成8年(1996年)生



全国建具展示会において、滋賀県建具協同組合理事長の推薦を受け、出展し、優秀賞を受賞。また全国植樹祭や大阪・関西万博へも精緻な加工技術等を駆使し、作品を出展している。木製製品製造工分野において、優秀な技能を持っている。

おうみ若者マイスターに認定されて

このたび「おうみ若者マイスター」に認定いただき、身に余る光栄に深く感謝いたします。建具を中心に、一級技能士の取得や全国大会・万博への出展を通して、日々技術の研鑽に励んでいました。まだまだ未熟ではありますが、組合の皆さまをはじめ、多くの方々のご支援のおかげで今回の認定に

至ったと感じております。今後は、若い世代がこの業界に興味を持ち、飛び込んできてもらえるような活動にも力を注ぎ、模範となれるよう精進をかさねてまいります。

金型取付工等(溶射)

株式会社シンコーメタリコン 勤務

認定番号

086

ふくい
福井

こうへい
耕平

平成3年(1991年)生



溶射(肉盛溶射作業)職種の技能検定単一等級に合格し、ロボット施工者1級等社内規定資格を複数取得している。溶射施工において均質で高品質な溶射皮膜の形成ができる技術者のため、専任者認定を受けている。溶射分野において、優秀な技能を持っている。

おうみ若者マイスターに認定されて

この度は、「令和7年度おうみ若者マイスター」として認定いただき、ありがとうございます。私は、ロボットを用いた表面処理プラズマ溶射施工に従事し、作業の安定化や品質向上に向けて努力を重ねて参りました。今回大変名誉ある認定をいただけたことは、日頃から親切丁寧にご指導くださる会社の先輩方のおかげと感謝

しております。また、これまで支えてくれた両親や家族に受彰を報告した際には、大変喜んでくれ、改めて周囲の支えの大きさを実感いたしました。弊社の創立100周年に向け、培った技術を次世代へ繋いでいくと共に、機械に未来を溶射し、日本を"機械長寿の国"へ導けるよう、これからも日々精進してまいります。

汎用金属工作機械工

ヤンマーパワーテクノロジー株式会社 勤務

認定番号

087

なかがみ

中上

しょうた

翔太

平成4年(1992年)生



複数の職種で技能検定特級・1級に合格し、技能グランプリにおいて銀賞を受賞しており、汎用金属工作機械工分野において、優秀な技能を持っている。

おうみ若者マイスターに認定されて

この度は、「おうみ若者マイスター」に認定して頂きありがとうございます。このような名誉ある認定をいただけたのは、今までお世話になった先輩方のご指導のおかげだと大変感謝しております。入社してから技能五輪や技能検定にも挑戦し、複数の機械で加工できる腕を磨いてきました。これからは日々

の業務の取り組みの中で、複合的な技術・技能の向上を目指しながら、加工時間短縮や精度向上を図っていきます。今まで培った技術・技能を次の世代へ伝承していくと共に、自身の腕を磨いて「おうみの名工」目指し日々努力していきます。

金属研磨工

ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場 勤務

受彰者番号

838

うすぎ

宇杉

まさと

直人

昭和48年(1973年)生



長年にわたり金型製作、組立、保全業務に従事し、文部科学大臣から科学技術分野において創意工夫労者賞を受賞している。金型の製作から組立・保全までの卓越した技能を有している。

おうみの名工を受彰されて

このたびは『おうみの名工』という栄誉ある賞を賜り、大変うれしく光栄に思います。これも長年支えてくださった諸先輩方のご支援ご指導、職業能力開発協会の皆様のご助力、職場の仲間の協力があつたからこそと思います。心より感謝申し上げます。先輩方から指導いただき習得した知識技能を

次世代にしっかりと対面で教え、社内のものでづくり技能伝承を途絶えさせない様心がけていきます。また技能検定員としても微力ながら皆様とともに地域のものでづくりに貢献できるよう努めて参ります。この度は誠にありがとうございました。

鋳物製造工

ダイハツ工業株式会社滋賀(竜王)工場 勤務

受彰者番号

839

おのはら

斧原

たかし

崇

昭和48年(1973年)生



精密機械加工業務に長年従事し、鋳物金型製作から金型保全業務における全作業において卓越した技能を有している。また技能検定委員として、長年尽力され、技能検定委員功労者として表彰されている。

おうみの名工を受彰されて

自動車製造の原点である鋳造ものづくりに32年間携わり、諸先輩方の熱心なご指導や同期との切磋琢磨を通じて技能を磨いてまいりました。国家技能検定に挑戦しながら培った技術を活かし、1台でもより良い車をつくるべく日々努力を重ねております。その結果、名誉ある「おうみの名工」を受彰

できたことを心より感謝申し上げます。今後も次世代への技能継承に力を尽くし、ものづくりの発展に貢献してまいります。皆さまの温かいご支援に深く感謝し、引き続き精進してまいります。

大工

有限会社亀屋北川工務所 勤務

受彰者番号
840

きたがわ

北川

こたろう

小太郎

昭和 26 年 (1951 年) 生



宮大工として、長年にわたり神社・仏閣の新築・修復に従事し、世界遺産である比叡山延暦寺をはじめ、多数の文化財建造物の修復等を行い、卓越した技能を有している。

おうみの名工を受彰されて

この度「おうみの名工」という栄誉ある称号を賜り、身に余る光栄に存じます。これまで支えてくださった師匠、家族そして地域の皆様のお力添えがあったればこそ、今日の受彰につながったものと深く感謝しております。近江の地に根ざす伝統と技を継承し、さらに磨きをかけていく責任を改めて感じております。伝統技術の

研鑽を続けるとともに、現代の暮らしに活かせる新しい工夫を取り入れ、技の可能性を広げてまいります。若い世代への技術継承に力を注ぎ、後継者育成を通じて地域の文化を未来へとつなげていきたいと考えております。「おうみの名工」の名に恥じぬよう日々精進し、地域社会に貢献できる存在であり続けたいと思います。

漆器工

きたしん勤務

受彰者番号
841

きたむら

北村

じゅんじ

順治

昭和 30 年 (1955 年) 生



長年にわたり蒔絵製造業に従事し、漆盛蒔絵の伝統的技術・技法を体得し、卓越した技能を有している。彦根仏壇の蒔絵部門において伝統工芸士に認定されている。

おうみの名工を受彰されて

「おうみの名工」という映えある称号を頂き身に余る光栄です。今後も益々精進して努力していこうと心を新たにしました。全ての物が目まぐるしいスピードで移り変わる現代に私達の業界もその例外ではありません。漆芸、蒔絵の世界に入り 45 年、伝統工芸士になって 16 年を迎えました。何分に

も一人前になるには大変な時間と努力が伴いますが、色々な仕事で培った経験が生きてくると感じます。業界に携わってこられた職人さんも少なくなり後継者不足は否めません。これからも出来る限り後継者育成に携わっていきたく考えています。

日本料理調理人

株式会社琵琶湖グランドホテル・京近江勤務

受彰者番号
842

ささき

佐々木

かん

寛

昭和 39 年 (1964 年) 生



長年にわたり、日本料理の調理技能の研鑽を積み、卓越した技能を有しており、日本料理全国大会郷土料理部門において、厚生労働大臣から表彰を受けている。

おうみの名工を受彰されて

おうみの名工を受彰させて頂きありがとうございました。今年度は大阪・関西万博の展示会出展などがありダブルの喜びとなりました。受彰をさせて頂いたことを忘れずにこれからも日本料理道に精進していきたいと思っております。現在もしておりますが若い人たちの育成又、これから大人

になっていく小学生たちの食育授業に特に力を入れていく次第です。

左官

有限会社津田左官工業所 勤務

受彰者番号

843

つだ ひろみち
津田 弘道

昭和39年(1964年)生

京都御所保存整備工事のしっくい壁修復工事をはじめ、文化財の修理工事を数多く手がけ、多年にわたり文化財の修復・保存および文化財の保護に貢献した功績により「滋賀県文化功労賞」を受賞している。



おうみの名工を受彰されて

この度の受彰は、ひとえに長年にわたり私を支え、ご指導くださった皆様のおかげであり、心より感謝申し上げます。私がこの道に入り、技術の向上に励んでこられたのも、温かく見守り、時には厳しくご指導いただいた先輩方、そして苦楽を共にしてきた仲間たちの存在あったからこそと深く感謝しております。

受け継がれてきた伝統の中で培われた技能が評価されたことを励みにより一層技術の向上に努めてまいります。後進の育成にも積極的に取り組み、この素晴らしい技術の発展に微力ながら貢献できるよう精進する所存です。また、関係者の皆様に改めて深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

金属溶接・溶断工

株式会社ゴーシュー 勤務

受彰者番号

844

にしかわ はじめ
西川 肇

昭和50年(1975年)生

長年にわたり溶接作業に従事し、熱影響を考慮した溶接技能や、耐久性等を考慮した治具の設計・製作等、溶接に関する卓越した技能を有しており、日本鍛造協会から技術・技能優秀者として表彰されている。



おうみの名工を受彰されて

この度は大変名誉ある「おうみの名工」の表彰を頂き誠に有難く、また身の引き締まる思いです。遡れば溶接を学ばせて頂いた先輩方、そして家族のお陰だと本当に実感し感謝が尽きません。昨今、溶接業界では人員不足という懸念点を解消するためロボット化(自動化)の動きが広がっています。

それらと自身の技能とを融合させることで新たな溶接工法を開拓し、更なる溶接技能の向上を図っていきたくと考えています。今後も更に研鑽を重ね、溶接の“楽しさ”を伝え続けることで金属だけでなく人と人とを接合し、海外拠点を含め次世代の名工を育て社会の発展に貢献していきます。

畳工

有限会社的場たたみ店 勤務

受彰者番号

845

まとば たかゆき
的場 貴之

昭和47年(1972年)生

畳職人として長年にわたり従事して培った知識・技能を有しており、彦根城楽々園をはじめ多数の畳の製造を手がけており、畳製作に関して卓越した技能を有している。また、厚生労働省「ものづくりマイスター」として認定されている。



おうみの名工を受彰されて

このたび「おうみの名工」として表彰をいただき、大変光栄に存じます。これまで支えてくださった多くの方々のお力添えがあってこそこの受彰であり、心より感謝申し上げます。伝統技術を守りながらも、新たな挑戦を続けていくことが私の使命だと改めて感じております。今後も技能の研鑽に努め、

より質の高い畳づくりを追求するとともに、若い世代への技術継承にも力を注いでまいります。地域の皆さまに喜んでいただける仕事を積み重ね、畳文化の発展に少しでも貢献できるよう、これからも精進していく所存です。

おうみ若者マイスター認定事業を実施する目的・背景

- 若い方の技能離れや熟練技能の次世代への継承が、滋賀県においても引き続き大きな課題となっており、ものづくり人材の育成を進めていく必要があります。
- 県内産業に従事する現役の技能者で技能や産業社会への貢献度などが特に優れた方を滋賀県優秀技能者「おうみの名工」として表彰していますが、受表彰者は長年熟練技能を磨いてきた中高年齢以上の方が中心であり、若年技能者にとってはハードルが高く現実的な目標になりにくいという側面があります。
- そこで、滋賀県では、将来の「おうみの名工」を目指す優秀な若年技能者の方を「おうみ若者マイスター」として認定しています。認定を受けた方には、更なる技能向上のために努力していただくとともに、県主催のイベントなど技能振興活動に御協力いただきます。県民の皆さまの間に継承されるべき技能への関心が高まることを願って、平成19年度からこの認定事業を始め、これまでに87名の方を「おうみ若者マイスター」に認定しています。



令和7年度おうみの名工受表彰者、おうみ若者マイスター認定者紹介冊子
「おうみ若者マイスター」から そして「おうみの名工」へ
令和8年2月発行

滋賀県商工観光労働部労働雇用政策課

〒520-8577 滋賀県大津市京町四丁目1番1号

電話 / 077-528-3755 (直通)

e-mail / fe0003@pref.shiga.lg.jp